

2015年7月29日、パリ

2015年上半期業績：新興市場諸国での保険請求増加にもかかわらず、6600万ユーロの利益を計上。

- 収益成長：現在の会計範囲・為替レートで名目 5.1%（会計範囲・為替レート補正後で実質 2.1%）
- 保険請求の頻度が上昇した影響による再保険後の合算比率は 81.9%（2014 年上半期に対し 3.9 ポイント上昇、2014 年下半期に対し 0.5 ポイント上昇）
- 6600 万ユーロと高水準の純益（グループシェア）（2014 年上半期は 6900 万ユーロ、2014 年下半期は 5600 万ユーロ）。
- フランスにおける公的保証事業（評価額約 9000 万ユーロ）の譲渡について、本日、フランス政府⁽¹⁾より原則的な同意が得られた。

*異なる記載がない限り、変動は 2014 年 6 月 30 日の財務データとの比較です。
公開された 2014 年の財務データは IFRIC21 に基づいた修正になります*

コファスグループ CEO の **Jean-Marc Pillu** は次のようにコメントしている。

「昨年末以来、当グループの定期的な業績発表の機会に、マクロ経済環境に影響を与えている弱点を指摘してきました。今年上半期にもこのトレンドが確認されており、それは特に、新興市場諸国における保険請求頻度の上昇に現われています。

こうした状況を考えれば、私たちがここで発表する上半期実績は良好です。これによって当グループのビジネスモデルの堅牢性は実証されています。すなわち、商品の革新と多チャンネルによる流通、そしてリスク及びコストの抑制です」

フランス国家による公的保証事業の譲渡について得られた原則的な同意について、**Jean-Marc Pillu** は次のようにコメントしている。

「この同意が得られなければ当グループの公的保証事業の将来にのしかかっていたはずの不確実性が解消され、譲渡の金銭的条件についても合意されています。コファスはこの件が当グループの業績に与える影響を限定しようとしており、現在、業務効率化計画の実施について検討しているところです」

¹: 譲渡は法律の変更により実行可能となります

P R E S S R E L E A S E

2015年6月30日時点での主要数値

コファス SA 取締役会は、2015年7月28日に行われた会合において、2015年上半期の連結財務諸表を検証した。連結財務諸表は、法定監査人による限定的な検証の対象となった。

損益計算書の費目 (単位:100万ユーロ)	2014年 上半期 (公表済み)	2014年 上半期 (IFRIC21 に基づく修正)	2015年 上半期	変動 2015年上半期 対2014年上半期 (IFRIC21に基づく修正)	変動 実質ベース(2)
連結収益	723.6	723.6	760.3	+5.1%	+2.1%
うち、経過保険料	564.8	56.8	603.0	+6.8%	+2.8%
保険引受収入(再保険後)投資 収入(費用控除後)	87.8	87.3	77.6	-11.2%	
	22.3	22.3	28.2	+26.3%	
営業収入	103.7	103.1	102.6	-0.5%	
営業収入					
修正費目を除く(3)	109.4	108.8	103.6	-4.8%	-7.5%
純収入(グループシェア)	69.4	69.0	66.1	-4.2%	-6.0%
純収入(グループシェア)					
修正費目を除く(3)	76.7	76.3	74.0	-3.0%	-4.0%
主要指標	2014年上半期	2014年上半期*	2015年上半期		
再保険を除く損失率	50.9%	50.9%	52.0%	+1.1ポイント	
再保険を除く費用率	26.9%	27.0%	29.8%	+2.8ポイント	
再保険を除く複合率	77.8%	78.0%	81.9%	+3.9ポイント	
貸借対照表費目(単位:100万ユーロ)	31/12/2014	31/12/2014*	30/06/2015		
資本金総額	1 724.2	1 724.5	1 726.8	+0.1%	

2: 連結範囲・為替変動補正後ベース

3: 営業収入及び純収入は金融コスト(2014年上半期:480万ユーロ、2015年上半期:1002万ユーロ)を含め、次のコストを除き修正されました:ハイブリッド証券の利払い(-400万ユーロ)、IPO関連費用(-700万ユーロ)、SBCEの事業再編に関連する費用(-100万ユーロ)、再編に関連する収入(150万ユーロ)及びその他の費用(-10万ユーロ)。2014年6月30日時点:ハイブリッド証券の利払い(-810万ユーロ)、米国の販売ネットワークの再編に関する費用及びその他の費用(-320万ユーロ) - 2015年上半期のファイナンシャルレポート(脚注19)をご参照ください。純収入の計算に関してそれぞれの2014年の上半期及び2015年の上半期に正規化された税率が上記の項目に適用されました。

1. 収益

2015年上半期、コファスは7億6030万ユーロの収益を計上した。これは2014年上半期に比べ5.1%の増加である（会計範囲・為替レート補正後で実質2.1%増）。

この変化は、当グループが2013年以來実施している、商品の革新と多チャンネルによる流通を基盤とし、モニタリング及び販売プロセスの改善を伴う商業戦略の適切性を実証するものである。

この上半期を通じて、「トレードライナー」の立ち上げによる、市場セグメントごとの事業範囲のオーバーホール及び専門家のプロセスが顕著に見られた。「トレードライナー」は、中規模企業のニーズに対応することを意図したコファスの主力商品である。

一方で、コファスが新興市場諸国で築いた地歩は依然として競争優位となっており、当グループは成長を確保する能力を固めるため、地理的なポジショニングの拡大を進めている。この目的のため、コファスはイスラエルにおいて保険事業者として活動するための認可を取得し（2015年1月）、カザフスタンに新たな営業事務所を開設した（2015年1月）。

収益（単位：100万ユーロ）	2014年上半期	2015年上半期	変動	変動
				（既存事業ベース、為替レート調整後）(4)
西欧	238.5	236.1	-1.0%	-2.8%
北欧	182.1	171.5	-5.8%	-4.7%
地中海・アフリカ	110.6	130.3	+17.8%	+16.3%
米国	53.1	66.3	+24.7%	+4.0%
中央	56.1	56.6	+0.9%	+0.6%
アジア太平洋	45.2	56.7	+25.4%	+8.0%
中南米	38.0	42.9	+12.8%	+16.9%
連結収益	723.6	760.3	+5.1%	+2.1%

当グループの収益成長の原動力となっているのは、引き続き、新興市場諸国と北米である。これらの地域では新たな商業アプローチが功を奏している。

より成熟度の高い市場、特に西欧及び北欧では、厳しい競争により価格下降圧力がかかっており、コファスの新たな商業戦略の展開には深い構造的変化を伴っている。ある程度の時間が経たなければその効果は現われない。

4: 連結範囲・為替変動補正後ベース

2. 業績

- 合算比率

2015年上半期を通じて、再保険後の合算比率は特に保険請求率の上昇に影響を受け、2014年上半期に比較して3.9ポイント増、2014年下半期から0.5ポイント上昇の81.9%となった。

ロシア、中国、中南米、さらには一部の事業部門における弱点が表面化したことが、2014年下半期以降の保険請求水準の上昇につながった。これによって、再保険を除く損失比率が2014年上半期に比べ1.1ポイント悪化し52.0%となった。

再保険を除くコスト比率は29.8%で、2014年上半期に比べると2.8ポイントの上昇である。この増加は流通コストの増大によって説明できる。特に、代理店・ブローカー又はパートナーを通じて契約の商業化が行われている地域において収益が増大したことによるものである。

内部間接費⁽⁵⁾は抑制されている。会計範囲・為替レート調整後の実質ベースでは、半年で1.2%（現行の会計範囲・為替レートでは2.8%）の伸びとなっており、これは保険料の伸び2.8%（現行の会計範囲・為替レートでは6.8%）を下回っている。

- 金融利益

上半期待つにおける金融所得⁽⁶⁾は、2014年上半期の2230万ユーロに対して、2820万ユーロとなった。株式市場は有利な状況にあり、コファスは2015年上半期に760万ユーロのキャピタルゲインを実現した（2014年上半期は300万ユーロ）。

- 営業利益及び純利益

修正対象の費目を除外した営業利益は1億360万ユーロであり、純利益（グループシェア）は7400万ユーロ⁽⁷⁾である。

公開された2014年の財務データはIFRIC21に基づいた修正になります

5: 社内経費はCoface Reと関連するスタッフ、移転及びその他の費用（2015年の上半期：40万ユーロ）を除き、修正されました

6: 負債の資本コスト及びその他の費用を除いた純投資

7: 営業収入及び純収入は金融コスト（2014年上半期：480万ユーロ、2015年上半期：1002万ユーロ）を含め、次のコストを除き修正されました：ハイブリッド証券の利払い(-400万ユーロ)、IPO関連費用(-700万ユーロ)、SBCEの事業再編に関連する費用(-100万ユーロ)、再編に関連する収入(150万ユーロ)及びその他の費用(-10万ユーロ)。2014年6月30日時点：ハイブリッド証券の利払い(-810万ユーロ)、米国の販売ネットワークの再編に関する費用及びその他の費用(-320万ユーロ) - 2015年上半期のファイナンシャルレポート（脚注19）をご参照ください。純収入の計算に関してそれぞれの2014年の上半期及び2015年の上半期に正規化された税率が上記の項目に適用されました。

3. 財務の健全性

IFRS 資本で見たコファス SA グループの資本金総額は 2015 年 6 月 30 日の時点で 17 億 2000 万ユーロである（2014 年 12 月末時点では 17 億 1800 万ユーロ）。

資本の変動は主として、当期純利益 6610 万ユーロと株主配当 7550 万ユーロの影響によるものである。

7 月 17 日、フィッチ・レーティングスは、コファスグループに与えた財務安定性格付（IFS）「AA」を確認した。見通しは「安定」とされている。またフィッチは、コファス SA に関する発行者不履行格付（IDR）を 1 ノッチ改善の A+とした。こちらも見通しは「安定」とされている。

4. フランス国家による公的保証事業の譲渡⁽⁸⁾

フランス政府は 2015 年 2 月、現在コファスが行っているフランス国家による国家補償事業を Bpifrance グループに譲渡する可能性を検討していることを発表した。フランス政府は同プロジェクトを検討しコファスと協議したうえで、本日 7 月 29 日、プロジェクト実施を決定したことを発表した。これは、中小企業及び大企業に提供している支援を一つの機関のもとに統合しようという狙いに沿ったものである。

コファスとフランス政府は、この譲渡に関する金銭的条件について合意した。条件としては、2014 年 12 月末時点での課税前評価額約 8970 万ユーロに対応する 7720 万ユーロ（（推定負債額 1250 万ユーロを控除）の元本支払が含まれている [訳注：原文 principle は principal の誤りか]）。

譲渡⁽⁸⁾は 2016 年中に実施される予定となっている。譲渡は、担当チーム及び専用システム（IT、契約など）並びに対応する資産及び負債により構成される国家公的保証事業を単独で Bpifrance に譲渡するという形式で行われる。

上述の支払い⁽⁹⁾により、コファスは直近の償却コスト⁽⁹⁾を吸収することが可能になり（試算では課税前で 173 万ユーロ）、マージン損失（1170 万ユーロ）及びコファスが負担する残余固定費（2080 万ユーロ）の吸収も促進される（金額は通年で換算、課税前）。

この事業を手放すことで、自動的に、RoATE（通年ベース）が 1.4 ポイント減少することになる。コファスはこの影響を抑制しようとしており、業務効率化計画の実施を検討している。

5. 展望

上半期に見られた保険請求の増大は、ゆっくりとしたペースで回復しつつあるグローバル経済の成長が依然として脆弱でリスクを孕んでいることを裏付けている。新興市場諸国（特に規模の最も大きな国）は構造的な難題を体験しつつあり、自国の成長モデルの衰えに悩んでいる。

こうした状況のもとで、コファスは引き続き緊張感を保ちつつ、自社の収益性とともクライアント企業の収益性を確保するために、積極的かつ選択的にリスク監視を続けていく。

⁸ 譲渡は法律の変更により実行可能となります

⁹ 事業譲渡について法律が変更され、実行可能になってから、8970 万ユーロの課税前評価額が財務データに反映される予定です。

連絡先

メディア担当

Monica COULL
T. +33 (0)1 49 02 25 01
monica.coull@coface.com

Maria KRELLENSTEIN
T. +33 (0)1 49 02 16 29
maria.krellenstein@coface.com

アナリスト/投資家担当

Nicolas ANDRIOPOULOS
Cécile COMBEAU
T. +33 (0)1 49 02 22 94
investors@coface.com

2015年財務カレンダー

2015年11月2日：2015年第3四半期業績発表

財務情報

この報道資料並びに法令に定めるコファス SA の重要情報、連結勘定、2015年上半期アナリスト向け発表は、当グループのウェブサイト（<http://www.coface.com/Investors>）で入手できる。

コファスとは

取引信用保険で世界有数の企業であるコファス・グループは、国内及び輸出取引において、取引先の債務不履行のリスクからお客様を守る為のソリューションを、全世界の企業に提供しています。2014年には、4,406名のスタッフのサポートによって、コファス・グループは14億4100万ユーロの連結売上高を計上しました。98か国における直接的及び間接的なプレゼンスによって、コファスは40,000を超える企業の200か国以上にまたがる取引をカバーしています。コファスでは、企業の決済動向に関する独自の知見と、350名のアンダーライターの専門知識に基づいた、160か国に及びカントリー・リスク評価を四半期毎に発表しています。

フランスでは、コファスはフランス政府の輸出保証の管理をしています。

www.coface.com



コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています。
ISINコード:FR0010667147 /ティッカーシンボル: COFA

免責事項 本報道資料で示される一部の表明は、将来の出来事、トレンド、見通し又は目標に顕著に関連する予測を含む場合があります。これらの予測は本質的に特定・不特定のリスク及び不確実性を伴うものであり、多くの要因による影響を受けて、実際の結果と本報道資料内の表明とのあいだに相当の誤差が生じる可能性があります。コファスグループの事業に影響を及ぼす可能性のある重要な要因、リスク、不確実性について説明するために、2015年4月13日に通し番号R.15-019で提出したコファスグループの「2014年登録書」のうち、セクション2.4「コーポレートガバナンス、内部統制及びリスク管理手続きに関する取締役会会長の報告」並びに第5章「主なリスク要因及びグループ内でのリスク管理」をご参照ください。コファスグループには、上記の予測の更新を発表する、又は将来の出来事又はその他の状況について新たな情報を提供する予定又は義務はありません。